

会長に就任して

会長 兼子 徹



会長に就任しても気になるのは…

会員の皆様、賛助会員の皆様も、こんにちは。会長の兼子 徹です。これを書いているのは7月下旬、多治見は39℃！ 過ごしにくい季節をいかがお過ごしでしたか？

さて、私、会長になる前は会計部長でした。会計のことがやはり気になります。今までSTDと癌予防の啓蒙活動をするといただけた日臨技からの助成金が、今年度から無くなりました。助成は無くても活動は続けないと！40万円分収支悪化が確実です。

11月に『検査説明・相談ができる臨床検査育成講座』を開催します。これは厚労省の通知の中に「検査説明は臨床検査技師もできると法律で決まっているのに、やっているのは医師や看護師さんで、臨床検査技師の人やってないでしょう。これからはチーム医療なんだし、やってね！」という一文が(もっと硬い文章ですが)ありました。これを受けた日臨技の指導で、厚労省・日本医師会・日本看護協会など、なんだかすごいところの後援をいただいての開催となります。が、参加者が非常に少ない場合、岐臨技の収支はさらに悪化することに…。技師長の皆様、先生のところの若い(あるいはそうでもなくてもよろしいですが)技師さんを講座に送り出してください。臨床検査技師の地位と、岐臨技の収支が向上するはずですよ。

ともあれ、岐臨技は、卒後教育の場を提供し臨床検査技師の知識・技術向上に、精度管理調査を行い臨床検査の精度向上に力を入れつつ、健康イベントや各種啓蒙活動などで地域の皆様の健康増進に貢献して、赤字決算にならないといいなあ、と思っています。



平成26年度 春季拡大研修会を終えて

実行委員 西美濃厚生病院 川島 直樹

平成26年度春季拡大研修会が6月1日に初夏を思わせる天候に恵まれ、大垣市情報工房に於いて西濃地区担当にて開催されました。

今回の研修会は、メインテーマに『CKD慢性腎臓病』として、臨床一般部門は「新しい国民病、慢性腎臓病(CKD)腎機能、蛋白尿、アルブミン尿の評価法アップデート」の内容にて名古屋大学大学院医学系研究科の安田宜成先生がご講演され、臨床生理部門は「CKDの心血管系合併症について・心エコードプラー法による検討」の内容にて朝日大学村上記念病院院長の大橋宏重先生がご講演されて、臨床的特徴から診断までを分かりやすく解説していただきました。また、市民公開講演は、「ミクロの侵入者を理解する・ウイルスと感染症の不思議に迫る」の内容にて中部大学生命健康科学部の伊藤守弘先生にご講演頂き、参加された一般市民の方々は感染症の成り立ちから予防について熱心に耳を傾けておられました。

今回の研修会が盛況にて無事終了することができましたことは、ご講演いただいた諸先生、講演の企画準備をしていただいた諸先生、参加していただいた一般市民の方々・会員の諸先生、ご協力していただいた賛助会員の皆様、本研修会を準備、運営、ご指導をいただいた実行委員、諸先生に心より御礼を申し上げます。



平成26年度 新人サポート研修会に参加して

岐阜中央病院 吉田 真実

平成26年7月20日(日)に、岐阜医療科学大学 早緑ホールにて開催されました。当日の参加会員数は63名、学生の参加者が17名と、多数の参加者で早緑ホールは賑わっていました。新人サポートとありますが、基礎から応用まで様々な部門でレベルの高いご講演をいただき、さらにはランチセミナーも企画していただきました。まだ学会参加の経験が少ない私にはとても貴重な体験でした。今回の研修会では、愛知県から3名、岐阜県から3名の先生方にご講演をいただきました。丸一日を使っただけでしたが、朝から夕方まで濃密な時間で、あっという間に1日が終わってしまいました。

今回この研修会に参加させていただいたことで、日常当たり前に行っていた生化学分野などの基本的な部分から、さらには新しい視点でのデータの見方を学ぶことができました。同じデータでも着目点を変え、さらに深く読み解き、生きたデータを臨床の場に返していけるようにつなげていきたいと思います。

最後にはなりませんが、このような場を企画・提供して下さった先生方にこの場をお借りして、お礼を申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。



今年度も岐臨岐では様々な研修会の開催を予定しています！

各研修会の日程や内容など、詳しくは岐臨岐ホームページの学術カレンダーをご覧ください♪

<http://giringi.jp/~giringi3/>



前副会長 石郷 潮美

この度、役員を退任するにあたり、ひと言ご挨拶を申し上げます。
平成19・20年度は、西濃地区担当理事を、平成21年度は理事を務め、組織調査部長を担当しました。平成22・23年度より組織調査部・広報宣伝部統括副会長として、また、平成24・25年度は學術部・精度管理事業部統括副会長として北村前会長を補佐してまいりました。
在任中、印象に残りますことは、平成24年6月23日「岐阜県臨床検査技師会創立60周年」(岐阜市)を開催できたこと、同年11月3日・4日には、平成24年度日臨技中部圏支部学会(第51回)を多治見市セラミックパークMINOで盛大に開催できたことがあげられます。ひとえに、会員、賛助会員の皆様のご協力があったのと深く感謝申し上げます。
今後は、一会員として「岐臨技」の學術サポートをしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

お疲れさまでした



前庶務部長 西山紀郎

私が庶務部長に就任することとなったのは、病院に掛かってきた副会長からの1本の電話からでした。前任の庶務部長が仕事上の都合で辞意を表明しているとのことで、次の庶務部長が決まらない。大変困っている。誰か就任してくれる人に心当たりはないか、とのことでした。自分自身、心当たりを当たってみたのですが、いい返事がもらえませんでした。その旨、副会長に返事をすると、もしよければ、先生にお願いできないかとのことでした。そこで、当院の検査技術部長、検査技術課長に相談し、快諾を得て、1期限りの条件で就任することとなりました。初めての部署に沢山の戸惑いもありましたが、何とか1期2年を務めることができました。これも会長はじめ副会長、各部長、理事、監事のみなさまのご指導、ご協力の賜物と深く感謝しております。今限りで庶務部長を退任しますが、一会員として、技師会に関われたらと思います。今まで、色々とありましたが、それも良い経験でした。こんな私を叱咤激励していただいた全ての皆様に感謝いたします。最後に、一般社団法人となった岐阜県臨床検査技師会の益々の繁栄を祈念し、文を閉じたいと思います。

近日の部門研修会のご案内

<第3回輸血細胞治療部門研修会>

日時:平成26年8月30日(土) 14:00~17:00

場所:高山赤十字病院

内容:「血液型とスクリーニングの基礎」

「日常検査でよく遭遇事例への対応」

講師:カイノス(株)西野 主真 先生

※病院駐車場をご利用下さい

連絡先:岐阜県立多治見病院 八木 良仁



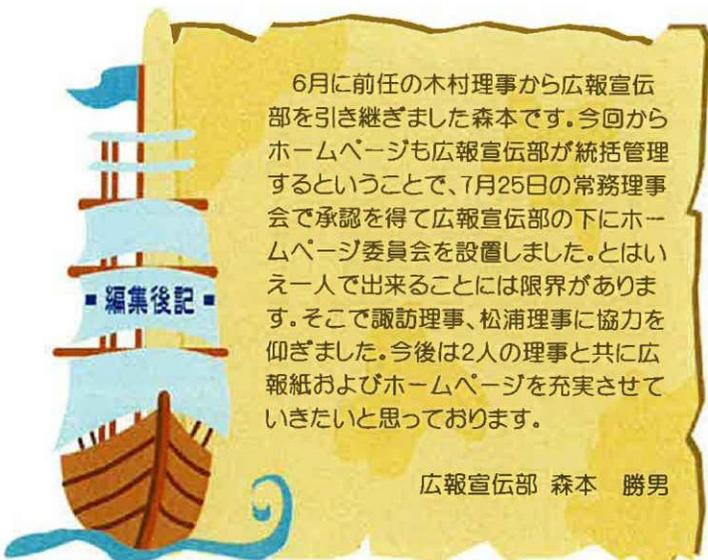
会報(28号)でもお伝えしましたが4月1日から岐阜県臨床検査技師会は(社団法人)から(一般社団法人)に移行しました。

で……………何が違うの？

と思われる方もあると思います。簡単に言いますと社団法人となるには

- ① 事業内容に公益性が必要
- ② 営利目的ではない
- ③ 主務官庁の許可がある

でしたが、一般社団法人は上記の条件を満たす必要がなくなったため、株式会社と同様に法務局への登記手続きだけで、設立できるようになりました。但し税金の優遇措置はなくなりました。



6月に前任の木村理事から広報宣伝部を引き継ぎました森本です。今回からホームページも広報宣伝部が統括管理するというので、7月25日の常務理事会で承認を得て広報宣伝部の下にホームページ委員会を設置しました。とはいえ一人で出来ることには限界があります。そこで諏訪理事、松浦理事に協力を仰ぎました。今後は2人の理事と共に広報紙およびホームページを充実させていきたいと思っております。

広報宣伝部 森本 勝男